

カズの書道講座 (三)

実技に入る前に・その二

作品とは

そもそも作品とは「品を作る」「品を作す」と読
み下せますから、出来上がったものには、品がなけ
ればなりません。また品には上と下とありますので、
当然上の品を作りたいと思うわけですが、もし下で
もいいと言う方がいらつしやれば、そのまま書は字
ぶ必要がありません。書を学ぶ一つの見方としては
「品性を高めること」とも言えますが、実際に品の
高い作品を見かけることは、なかなかありません。
前号で申し上げました書道ガールズ等が書く大作は、
墨を飛ばして足や紙を汚したりしますので、全く品
の高いものとは言えません。個人的には止めてもら
いたいと思っています。

また、よく「書は心画なり」とか、「心正しけれ
ば則筆正し」とか、あたかもらしきことを言い、
況してや書は人間形成の一役を担うなどと言う方も
いらつしやいますが、それは言い過ぎです。

作品の品性と人間の品性とは別です。品のいい人
が品のいい作品を書くというとは言えませんし、
その逆のケースもあると思います。ただ、毛筆は不
思議と書き手の気分みたいなものが現れますから、
粗暴な人が品のいい作品を書くというのではないよ
うに思えます。

これは、ちよつと矛盾しているようにも思えます
が、現在の書道界を見ますと、師風墨守一辺倒の傾
向が強く、展覧会を見ても指導者のお手本そっくり
さん（自戒も込めて）ばかりです。ですから、品性
が伴っていない指導者に指導されれば、いくら習い

手に品があつたとしても、品のいい作品は期待でき
ません。

指導者が大切

声楽を習いたい時、民謡の指導者には習いません。
歌謡曲を習いたい時も民謡の指導者には習いません。
絵画を習おうとする方は、日本画か洋画か、人物か
風景か、自分の習いたいものをはっきりさせ、誰に
師事したらよいかよく考えるはずです。お腹が痛い
時、外科医に診てもらいますか、歯科医ですか、内
科医ですか。しかし、書道の場合はどうでしょうか。
近くにいるから、有名な人だから、肩書があるか
ら、友達に誘われたからなどとあまり深く考えず、
安易な気持ちで師事している方は多いはずで
危険です。相当危険です。書道の指導者にも専門
と言うよりも得意分野（本当は専門と言いたい）が
ありますから、展覧会などで誰がどんな作品を発表
しているか、自分の眼で見て知ることが必要です。
更に師事したいと思う方が、展覧会至上主義かどう
かと言うことを、よく見究めることです。この見究
めが肝心で、先々、多くの方が悩んでいることを私
はよく知っています。活字に出来ないこともあり
ます。尤も展覧会で入選・入賞だけを望む方は別で
すが…。

たとえそうであっても、年月を重ねるうちに気が
つきます。気がついた時に思い切ればいいと思うの
ですが、自分の立場とか、社中の人達とのお付き合
いとか、グジグジ考えながら、結局はダラダラと続
けている人が多い現実です。最近、スポーツ界で体
罰が問題視されていますが、その構造を考えますと、
書道界も同様に思えてなりません。習いごととは指導
者が一番大切です。

品性は何から学ぶか

指導者もしくは習い手自身が、どういうものが上

の品なのか、どうすれば上になるのか、そのあたり
が解らなければ、何十年経つても上の作品にはなり
ません。だからといって私自身が十分解っているか
という、それも怪しいのですが、少なくとも、そ
ういう気持ちをもって制作にあたるということが大
切です。

それには「先ず、見る！」ことです。あらゆる
ことは、物を見ることから始まりますから「いい物
を見る」と言うことです。何がいい物かと言うと、
やはり古典となるわけですが、なぜ古典はいいのか
と言いますと、歴史があると言うことです。歴史が
あると言うことは、それだけ多くの人達の眼に晒さ
れ、それに耐え抜いて遺っているものです。何百年
も何千年もです。多くの否定者の眼や声にも耐え抜
いているわけですから、古典には必ずすばらしいと
ころがあるのです。

※注1 「そのまま書は学ぶ必要がありません」と
いうことは便宜上で、書を学ばない人の作品はみ
な下の品というわけではありません

※注2 「書者心畫也」は、言者心聲也（言は心聲
なり）と対句で、書は心の投影であるの意。前漢
時代の揚雄（前五三〜後一八 前漢の学者・文人
字を子雲、著書に『法言』『方言』）の言葉。

※注3 「心正則筆正」は、唐の柳公権（七七八〜
八六五）の言葉で、もともとは政治によこしまな
ところがあつた穆宗を、心を正しくすれば人格も
高く評価されると、それとなく諷めた言葉。今は
「心が正しければ筆使いも正しくなる」と解釈さ
れています。

※注4 何を気がつくかと言いますと、結局は金銭
に係わってくるのですが、物的証拠はありません。